






# 奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 面 名 称
L-01	表紙・図面リスト
特-01	特記仕様書（1）
特-02	特記仕様書（2）
A-01	案内図・配置図
A-02	改修工事 概要 外壁補修図・数量表
A-03	学生宿舎 1 棟 1・2 階平面図
A-04	学生宿舎 1 棟 3～5 階・屋上平面図
A-05	学生宿舎 1 棟 立面図 01
A-06	学生宿舎 1 棟 立面図 02
A-07	学生宿舎 1 棟 立面図 03
A-08	学生宿舎 1 棟 立面図 04
A-09	学生宿舎 1 棟 立面図 05
A-10	学生宿舎 1 棟 立面図 06
A-11	学生宿舎 1 棟 断面詳細図 01
A-12	学生宿舎 1 棟 断面詳細図 02

訂正	令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事	年度 令和 7 年 8 月
		設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者	図面名称 表紙・図面リスト	縮 尺 図面番号 - L-01
										



奈良先端大 学生宿舍1棟外壁改修その他工事

I 工事概要

1. 工事場所

奈良県生駒市高山町8916番地の5（奈良先端科学技術大学院大学生駒団地構内）

2. 完成期限

令和 8 年 1 月 30 日（金）

3. 建物概要

建物名称	学生宿舍1棟
工種	改修
構造	R
階数	5
建築基準法による	
建築面積 (㎡)	954
延べ面積 (㎡)	3,621
消防法施行令別表第一の区分	(7) 項
改修面積 (㎡)	3,621
備考	

4. 工事種目

○ 印の付いたものが対象工事種目

建物別及び屋外	工事種別
工事種目	学生宿舍1棟
○ 2 仮設工事	一式
○ 3 防水改修工事	一式
○ 4 外壁改修工事	一式
○ 5 建具改修工事	一式
・ 6 内装改修工事	
○ 7 塗装改修工事	一式
・ 8 耐震改修工事	
○ 9 環境配慮改修工事	一式
・ プール改修工事	
・ 電気設備工事	
・ 機械設備工事	
・	

5. 指定部分

・ 無 ・ 有 対象部分（指定部分工期 令和 年 月 日（曜）

6. 概成工期

・ 無 ・ 有 令和 年 月 日（曜） (1.2.1) [1.2.1]

II 工事仕様

1. 共通仕様

（1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負等契約細則の工事請負契約基準、現場説明書、図面 12 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）

○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

○ 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科仕様書」という。）

○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）（以下「文科改修仕様書」という。）

○ 工事写真撮影要領（令和5年版）

・ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

○ 建築工事標準詳細図（令和4年版）

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）

機械設備工事の特記仕様書は（ ）による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目は、○ 印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の (( )) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [[ ]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4） ⊕ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

項目

特記事項

1 各章共通事項

○ 適用区分

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力

風速 (V<sub>0</sub>= 3.2 m/s)

・ 地表面粗度区分 ( ・ I ・ II ・ III ・ IV )

・ 積雪荷重

平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (32) 30cm (奈良県)

(1.3.3~4) [1.3.3~4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
第1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
第1種電気工事士の資格を有する者	○
第2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
第2種電気工事士以上の資格を有する者	○
短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

○ 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。

(1.3.5) [1.3.5]

現場説明書 別紙-2による。

○ 発生材の処理等

(1) 引渡しを要するもの (1.3.11) [1.3.12]

1) 品名 なし

引渡し先 集積場所

(2) 特別管理産業廃棄物

1) 品名 なし

処理方法

(3) 現場において再利用を図るもの

1) 品名 なし

使用箇所

(4) 再資源化を図るもの

1) 品名 なし

受入場所

2) 品名

(5) その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

○ 環境への配慮

(1.4.1) [1.4.1]

建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放数量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(1.4.2) [1.4.2]

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(4) 本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造所等は、以下に指定する事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承認を受ける。

ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。

・ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

・ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

・ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

・ 安定的な供給が可能であること。

・ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

(5) 製造所等に関する資料の提出を求める材料

○ 材料の品質等

(1.4.4) [1.4.4]

材料名	備考

・ 材料の検査等

・ 石綿含有建材の調査

事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料（ ）

・ 分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンスゾフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト

分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3)、 (JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
タイル下地モルタル	・ (箇所)	・ (箇所)
外壁吹付材	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所

・ 図示による ・ 監督職員の指示による (1.5.2) [1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
タイル工事	タイル張り技能士

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工程については、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。

施工の確認及び報告を行う工程

備考

防水施工前

防水下地

外壁調査完了時

(外壁補修施工前に全面打診調査をおこない、外壁調査報告書を監督職員に提出すること)

(1.5.5) [1.7.5]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

外壁改修工事完了後（足場解体前）

(1.5.7) [1.7.7]

標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程

備考

外壁調査完了時

(1.7.1~3) [1.9.1~3]

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事目的物に關し使用するための権利については、発注者に委譲する。

1) 完成図

○ CADデータ（電子納品）及び電子データ（PDF形式）

○ A3版原図 1 部

・ A1版原図 1 部

○ A3複写図（製本） 1 部

・ A1複写図（製本） 1 部

2) 保全に関する資料

○ 電子データ（PDF形式） 1 部

○ A4ファイル綴じ 1 部

3) 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）

○ 原本（電子媒体）

○ アルバム（紙又は電子媒体） 1 部

4) 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 (2) 箇所	○ 電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	1	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承認する撮影業者
	・ カラー印刷紙キャビネ判			
	○ カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ (注)	1		
上記と異なる外部：6箇所 内部：0箇所 各改修面	○ カラー印刷紙キャビネ判			
	・ カラー印刷紙キャビネ判			
	○ カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ (注)	1		
外部：箇所 内部：箇所 程度	○ 電子データ (JPEGフルカラー)		1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	・ カラー印刷紙キャビネ判			
	A4アルバム綴じ			

(注) のアルバムは併せて作成する。

5) 施工図・施工計画書

○ 電子データ (PDF形式)

○ A4ファイル綴じ 1 部

電子納品は次の規定に従うものとする。

1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。

著作権者： 奈良先端科学技術大学院大学

ファイル形式： 完成図: DXF又はJWW形式及びPDF形式 工事写真: JPEG形式

貸与条件： 貸与するCADデータを本工事に於ける施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。

○ 技能士

○ 工程の施工の確認及び報告

○ 施工の検査等

○ 施工の立会い

○ 完成時の提出図書

2 仮設工事

○ 足場等

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

○ 設置する (設置範囲) (工事に必要な範囲) (図示による) ( )

・ 設置しない

防護シート

○ 設置する (設置範囲) (工事に必要な範囲) (図示による) ( )

・ 設置しない

内部足場

・ 設置する (※脚立、足場板等) ( )

○ 設置しない

・ 材料、撤去材等の運搬方法

種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 )

C種：利用可能なエレベーター ( ・ 図示による ) ( )

D種：利用可能な階段 ( ・ 図示による ) ( )

養生方法等 (2.3.1)

○ 既存部分の養生

養生方法 (※ビニルシート、合板) ( )

・ 既存家具、既存設備等

養生方法 (※ビニルシート等) ( )

・ 既存ブラインド、カーテン等

養生方法 ( ・ ビニルシート等 ) ( )

保管場所 ( ・ 図示による ) ( )

・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動

・ 図示による

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

3 防水改修工事

・ 施工数量調査

調査範囲 (1.6.2、3)

・ 図示による

調査方法

・ 図示による

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

・ 図示による

調査報告書（提出部数 1部） ( )

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 (3.2.6)

・ 図示による

POS工法及びPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4) (g) ①~③による

設備機器架台、配管支保、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※監督職員と協議する

○ 図示による

高圧水洗に使用する高圧水洗機のパワー：水圧10MPa以上

入隅の補修及び処理：既存入隅に面取りしてある場合、不良部は既存と同材で補修すること。尚、不良部が広範囲にわたる場合は、撤去の上、ケレン清掃すること。

新設防水層の種別 (3.6.2、3)

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ POX	※X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H	・ 主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置
					・ 設けられない
					改修用ドレン
○ L4X	※X-1 ※X-2 ・ X-1H ・ X-2H	○ 主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置
					・ 設けられない
					改修用ドレン

○ 下地調整は不陸をポリマーセメントモルタルで平滑に補修する

塗膜範囲の20%を見込む

シーリング

シーリング改修工法の種類 (3.1.4) [3.7.2、3.7、8]

・ シーリング充填工法

○ シーリング再充填工法

・ 抵觸シーリング再充填工法

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	PS-2、MS-2、PU-2

接着性試験

○ 簡易接着性試験

・ 引張接着性試験

訂正 令和 年 月 日

業務名 奈良先端大 学生宿舍1棟外壁改修他設計業務

設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所

管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者

工事名 奈良先端大 学生宿舍1棟外壁改修その他工事

年度 令和7年8月

図面名称 特記仕様書（1）

縮尺 図面番号 特-01



4 外壁改修工事 共通事項

4-3 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

4-5 塗り仕上げ外壁

5 建具改修工事

7 塗装改修工事

9 環境配慮改修工事

訂正 令和 年 月 日

業務名 奈良先端大 学生宿舎 1棟等外壁改修他設計業務

設計事務所 株式会社岩崎建築設計事務所

管理技術者 一般建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者

工事名 奈良先端大 学生宿舎 1棟外壁改修その他工事

年度 令和 7年 8月

図面名称 特記仕様書 (2)

縮尺 図面番号

待-02







改修工事概要

工事建物	工事項目	工事内容
■ 学生宿舎 1 棟 外壁改修	1. 外壁の改修	外壁：ひび割れ補修【コンクリート面、タイル面】 外壁：浮き・欠損 補修【コンクリート面、タイル面】 外壁：エフロレッセンス補修【コンクリート面、タイル面】
	2. 階段床の改修	既存 コンクリート 高圧洗浄、下地調整（ポリマーセメントモルタルにより平滑に補修）の上 防滑性ウレタン系塗膜防水（X-2工法）新設
	3. シーリング打替え改修	アルミ製建具周囲・鋼製建具周囲・打継目地・誘発目地・化粧目地・コンクリート鉄部取合い部、シーリング打ち替え
	4. 鋼製部の塗装替え改修	既存 鋼製ガラリ・鋼製手摺部・階段鉄骨部・鋼製建具 下地調整（R8種）の上DP塗装
	5. 外壁の塗装替え改修	既存 コンクリート打放しの上 複層塗材E 高圧洗浄、下地調整材（C-1）塗の上 可とう形改修塗材RE
	6. その他（樹木の枝払い等）	樹木枝払い：樹高8m枝張5m幹径0.3m 樹高8m枝張4m幹径0.3m×2本 樹木強剪定：樹高8m枝張5m幹径0.3m 樹高6m枝張3m幹径0.1m×2本 樹高7m枝張4m幹径0.3m 樹高2.5m枝張3m幹径0.1m 樹高5m枝張2.5m幹径0.2m 樹高7m枝張1m幹径0.1m×2本 樹高8m枝張3m幹径0.15m 樹高5m枝張5m幹径0.2m 樹高8m枝張5m幹径0.3m 低木樹高1.8m 8㎡程度 低木樹高1.5m 20㎡程度 低木樹高1.0m 2㎡程度 鋼製扉枠共撤去・新設 5階のみ アルミ・鋼製建具 ガラス面：イオンデポジット除去（ウロコ落とし） アルミ・鋼製建具 建具枠：清掃

外壁補修数量表（参考数量）

部位・工法		ひび割れ補修 塗装面	ひび割れ補修 タイル面下	浮き（欠損） 補修 塗装面	エフロ 補修	外壁タイル補修						シーリング打ち替え											
						タイル張替工法																	
						平面 グレー	平面 ラスター	平面 着色	役物 グレー 3面	役物 グレー 2面	役物 ラスター 2面	アンカービ ン グ”部分 エポキシ樹脂 注入工法	ポリアルファイト” シーリング” 20×15	ポリアルファイト” シーリング” 15×10	ポリアルファイト” シーリング” 5×5	変成シリコン シーリング” 15×10	変成シリコン シーリング” 5×5	変成シリコン シーリング” 10×10	変成シリコン シーリング” 15×15	ポリウレタン シーリング” 25×15		ポリウレタン シーリング” 25×20	ポリウレタン シーリング” 15×10
単位		m	m	㎡	箇所	㎡			箇所	m			m										
学生宿舎 1 棟	東	136	3.4	2.5	12	0.5	0	0	0	0	0	4.3	259	0	36.0	87.4	0	43.8	0	107	116	0	
	南	311	16.8	5.8	58	2.4	0	0	25	5	0	21.1	971	0	81.6	32.8	0	539	0	87.9	59.2	0	
	西	153	3.1	2.9	11	0.4	0	0	0	0	0	3.9	234	0	32.4	106	0	34.5	0	137	99.2	0	
	北	417	13.1	7.8	46	1.9	0	0	5	5	0	16.5	895	0	145	128	0	597	0	275	252	0	
数量合計		1017	36.4	19.0	127	5.2	0	0	30	10	0	45.8	2359	0	295	354	0	1214	0	607	526	0	

外壁補修図

ひび割れ補修（塗装面）	ひび割れ補修（タイル面下）	浮部補修（塗装面）	欠損部 補修（タイル面）	浮き（欠損） 露筋部補修（塗装面）	エフロ補修	浮き部 補修（タイル面）	浮き部 補修（タイル面）
	 ※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。		 ※コンクリート面にひび割れがあった場合は ひび割れ補修(タイル面)による ※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。		 ※全タイル面は高圧洗浄を行うこと。	 (1か所あたりの浮き面積1㎡以上 のか所で適用する。)	 (1か所あたりの浮き面積1㎡未満 のか所で適用する。)

訂正 令和 年 月 日


業務名

奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務

設計事務所名

株式会社岩崎建築設計事務所

管理技術者

一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者

工事名

奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事

年度

令和 7 年 8 月

図面名称

改修工事 概要 外壁補修図・数量表

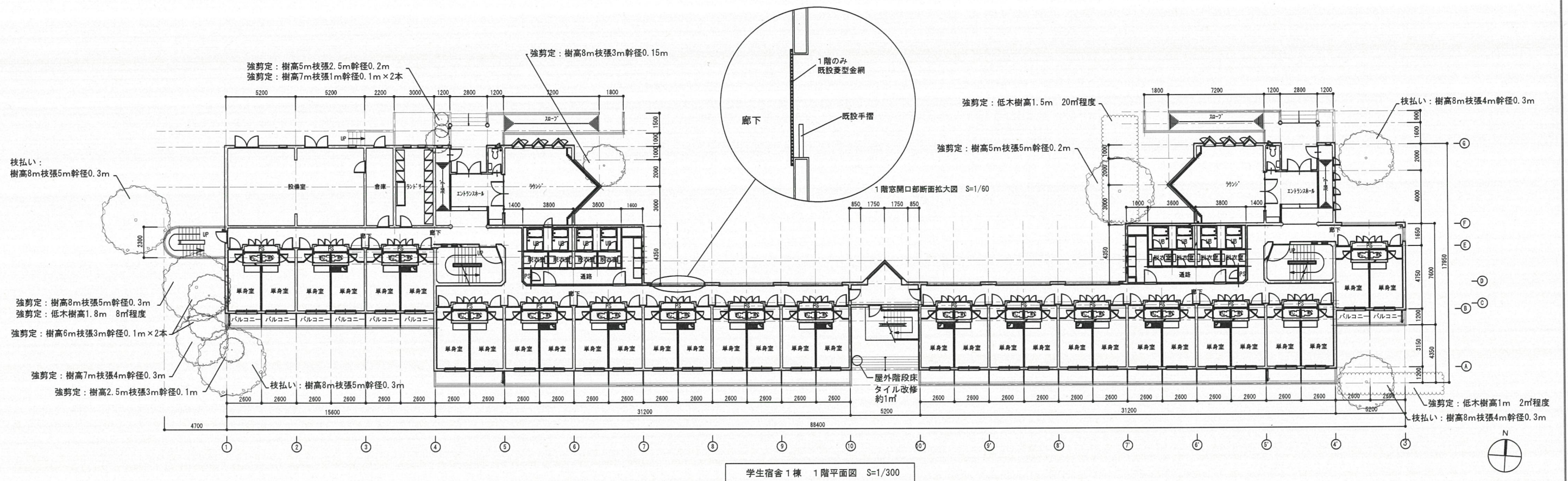
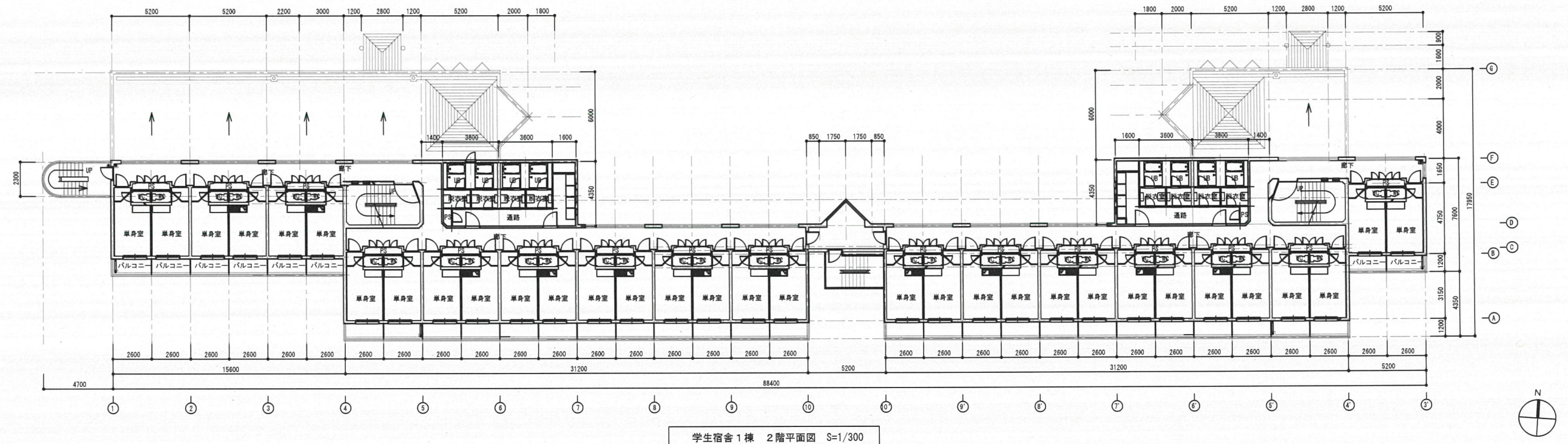
縮尺




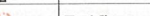
No Scale

図面番号

A-02





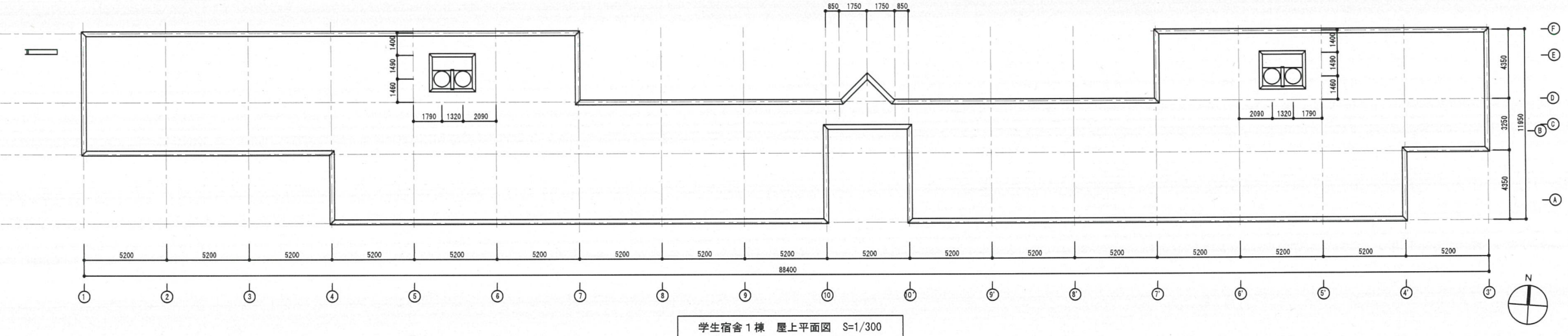
訂正 令和 年 月 日					業務名 奈良先端大 学生宿舎 1棟等外壁改修他設計業務					国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎 1棟外壁改修その他工事		年度 令和7年8月		
										課長		課長補佐		係長		専門職員		担当者	
					設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所					管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健									
																		図面名称 学生宿舎 1棟 1・2階平面図	
																		縮 尺 1:300	
																		図面番号 A-03	



<div><div>SD</div><div>1</div></div>	スチール製片開きフラッシュドア
数量	1
<div><div><div>900</div><div>1,900</div></div><div>▽5FL</div><div>既存鋼製建具姿図</div></div>	
材質	スチール
仕上げ	フタル酸樹脂エナメル塗装
枠	枠見込み70 三方枠
金物	レバーハンドル錠(自動施錠タイプ)
備考	ステンレス旗丁番
	ステンレス宙摺
	枠共
	レバーハンドル
	ドアクローザー
撤去建具周囲のケレン・清掃を行うこと	

<div><div>SD</div><div>1</div></div>	スチール製片開きフラッシュドア
数量	1
<div><div><div>900</div><div>1,900</div></div><div>▽5FL</div><div>新設鋼製建具姿図</div></div>	

<p>シーリング材 (10×10)</p> <p>56</p> <p>52</p> <p>40</p> <p>25</p> <p>15</p> <p>ステンレス旗丁番</p> <p>新設鋼製建具</p> <p>40</p> <p>25</p> <p>100</p> <p>81</p> <p>51</p> <p>35</p> <p>25</p> <p>10</p> <p>5</p> <p>8</p> <p>シーリング材 (10×10)</p> <p>ステンレス宙摺 (t=1.5)</p> <p>シーリング材 (15×10)</p> <p>15</p> <p>25</p> <p>25</p> <p>H</p> <p>建具枠 詳細図</p>	
材質	スチール
仕上げ	D P塗装 (1級) 焼付
枠	枠見込み70 三方枠
金物	レバーハンドル錠 (自動施錠タイプ)
備考	ステンレス旗丁番 (3枚吊)
	ステンレス宙摺 水勾配付き (t=1.5mm)
	レバーハンドル
	ドアクローザー
	防火設備 (常時閉鎖型、手動開放自動閉鎖型)
	建具周囲シーリング (MS-2 15×10, 10×10)
凡例	<p>シーリング範囲を示す</p>



学生宿舎1棟 屋上平面図 S=1/300

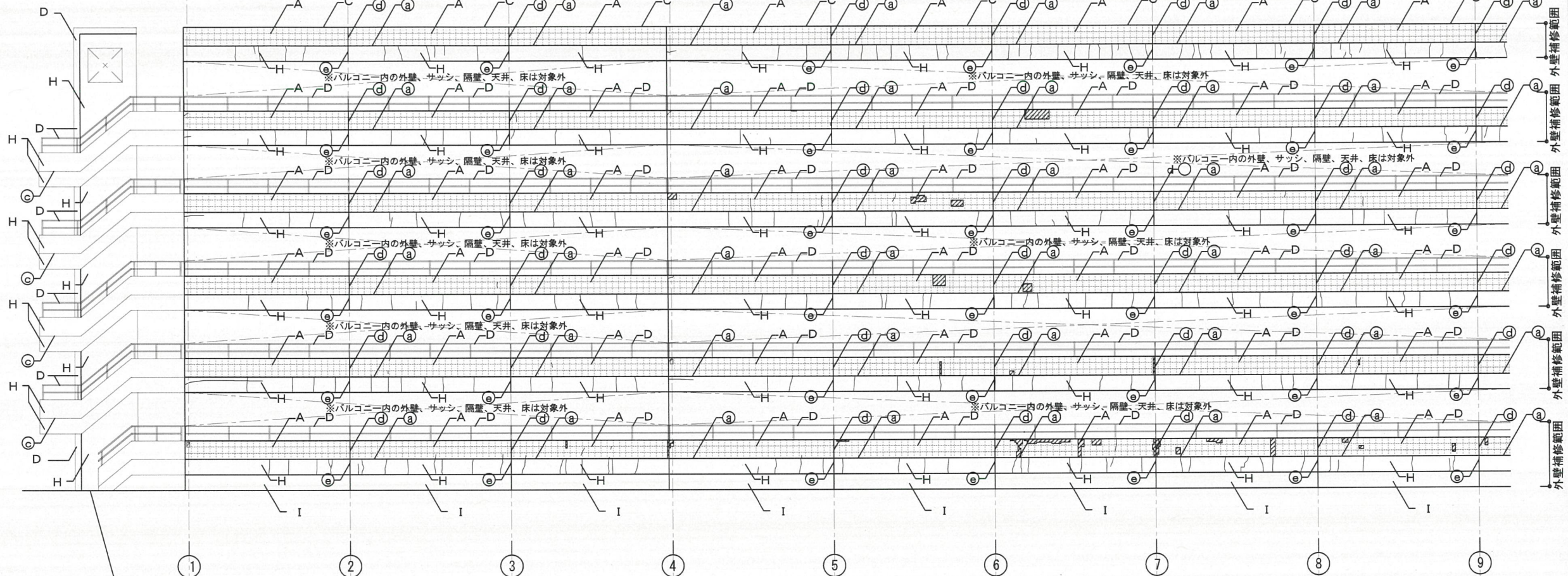


学生宿舎1棟 3-5階平面図 S=1/300

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	図面名称 学生宿舎1棟 3～5階・屋上平面図	縮尺 1:300
		管理技術者 一般建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健		図面番号 A-04



▽パラペット天端  
▽RSL  
▽5FL  
▽4FL  
▽3FL  
▽2FL  
▽1FL  
▽SGL



西側非常階段 塗膜防水部  
既存 コンクリート面仕上げA種  
範囲 床:全踊り場・蹴上・踏面 壁:全内壁面立上りH100  
改修 高圧洗浄の後、下地調整(C-1)の上、防滑性ウレタン系塗膜防水(X-2)

A部  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

D部(手摺部)  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300 (バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

D部(西側屋外階段 H形鋼)  
既存 H-300×150×6.5×9(西側屋外階段)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
コンクリート取合部 シーリング打替え






H部  
既存 コンクリート面仕上げA種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

I部  
既存 コンクリート面仕上げA種  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

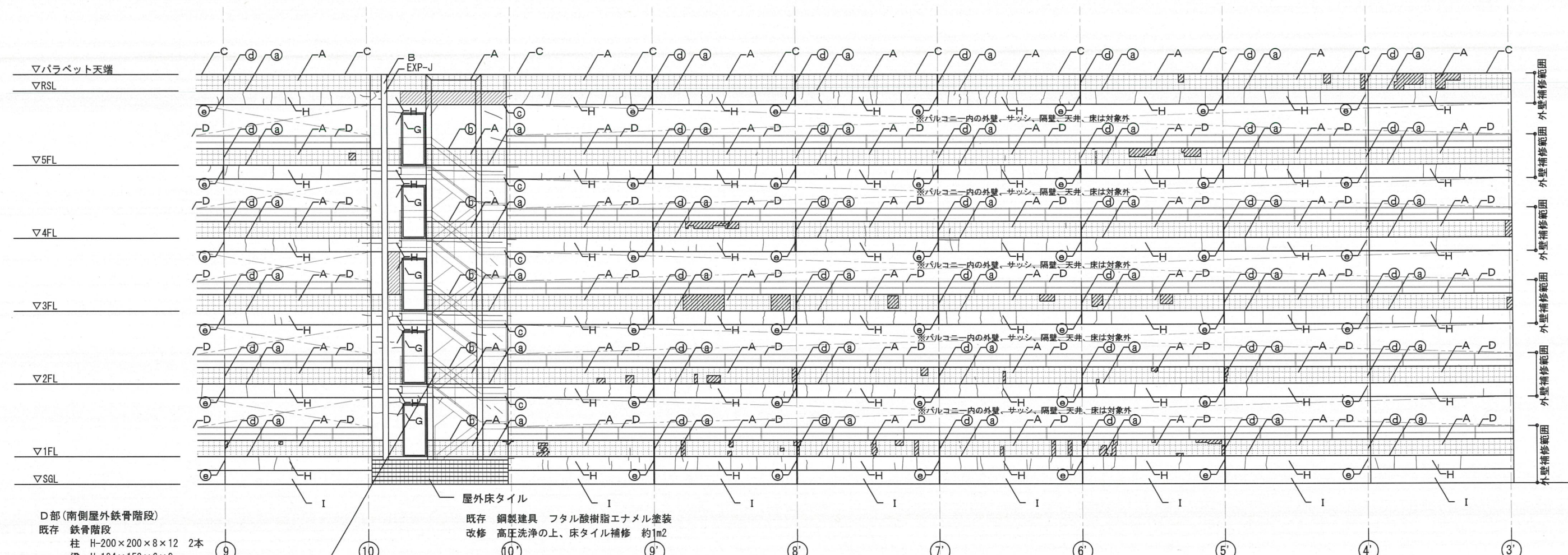
特記: 補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
			亀甲ひび割れ補修ヶ所		B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上げA種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地(タイル部分)	15×20
			タイル浮き部補修ヶ所		C	アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上げA種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地(RC部分)	15×25
			剥落・剥離補修ヶ所		D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地(タイル部分)	5×7
			エフロ補修ヶ所		E	フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地(RC部分)	20×25
					F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						

訂正	令和	年	月	日	業務名		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名	年度		
					奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務							奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事		令和 7 年 8 月	
					設計事務所名	管理技術者	課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者	図面名称	縮 尺	図面番号	
					株式会社岩崎建築設計事務所	一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健						学生宿舎 1 棟 立面図 〇 1	1:150	A-05	





D部(南側屋外鉄骨階段)  
既存 鉄骨階段  
柱 H-200×200×8×12 2本  
梁 H-194×150×6×9  
ササラ桁(外周) [-250×90×9×13  
ササラ桁(内周) PL-12 W250  
CHPL-t 12  
根太・補強アングル L-50×50×6  
手摺・手摺子・フェンス枠 FB-25×50  
フェンス部 溶接金網 #50×50×φ2.6  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

A部  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

B部(EXP-J)  
既存 アルミ  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

D部(手摺部)  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

屋外床タイル  
既存 鋼製建具 フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 高圧洗浄の上、床タイル補修 約1m2

G部(南側屋外鉄骨階段 鋼製扉)  
既存 各階非常扉 W850×H2000 5ヶ所 フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10  
鋼製建具 下地調整(RB種)の上 DP塗装(両面 枠共)

H部  
既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

I部  
既存 コンクリート面仕上A種  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

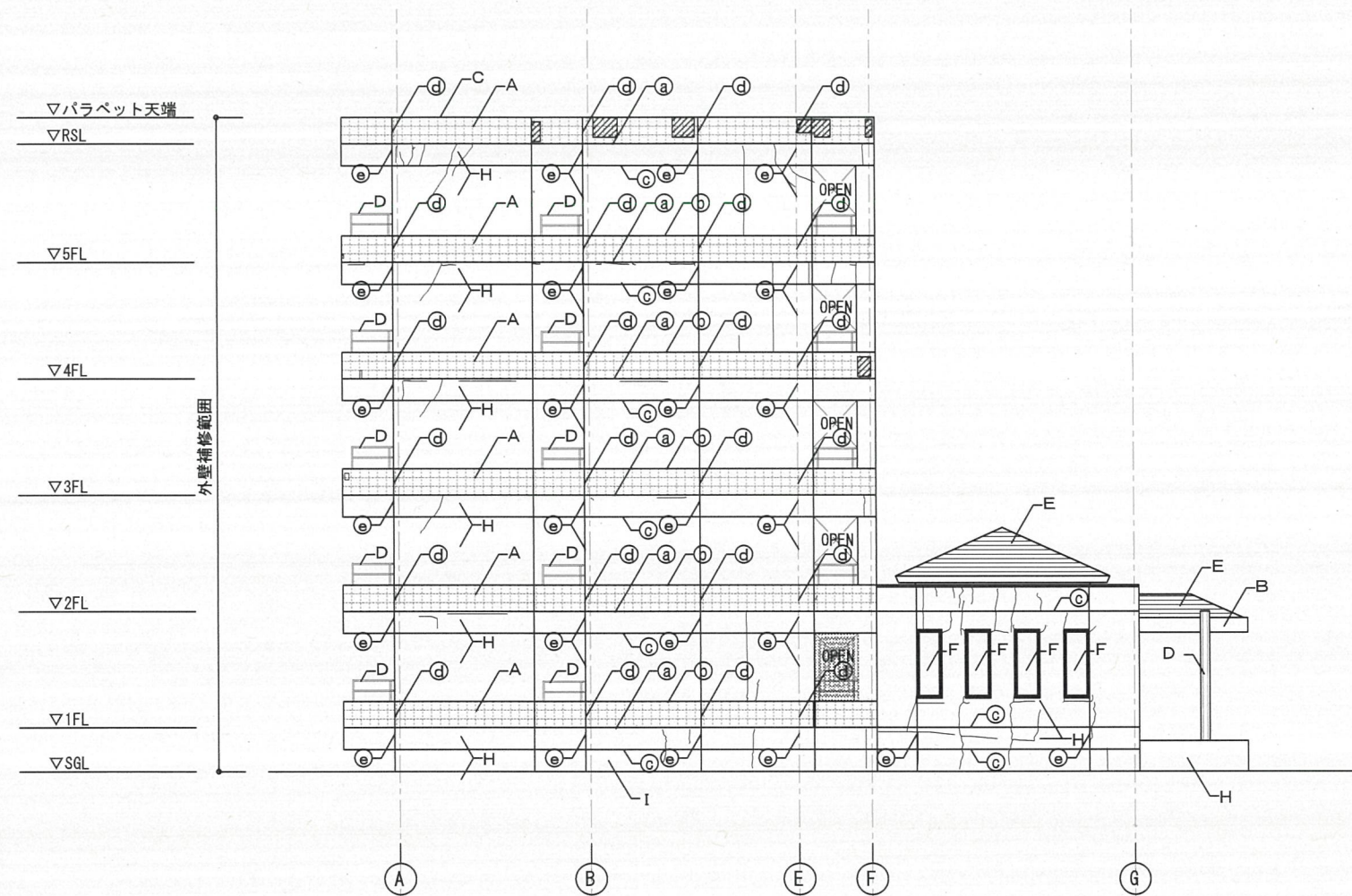
特記: 補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

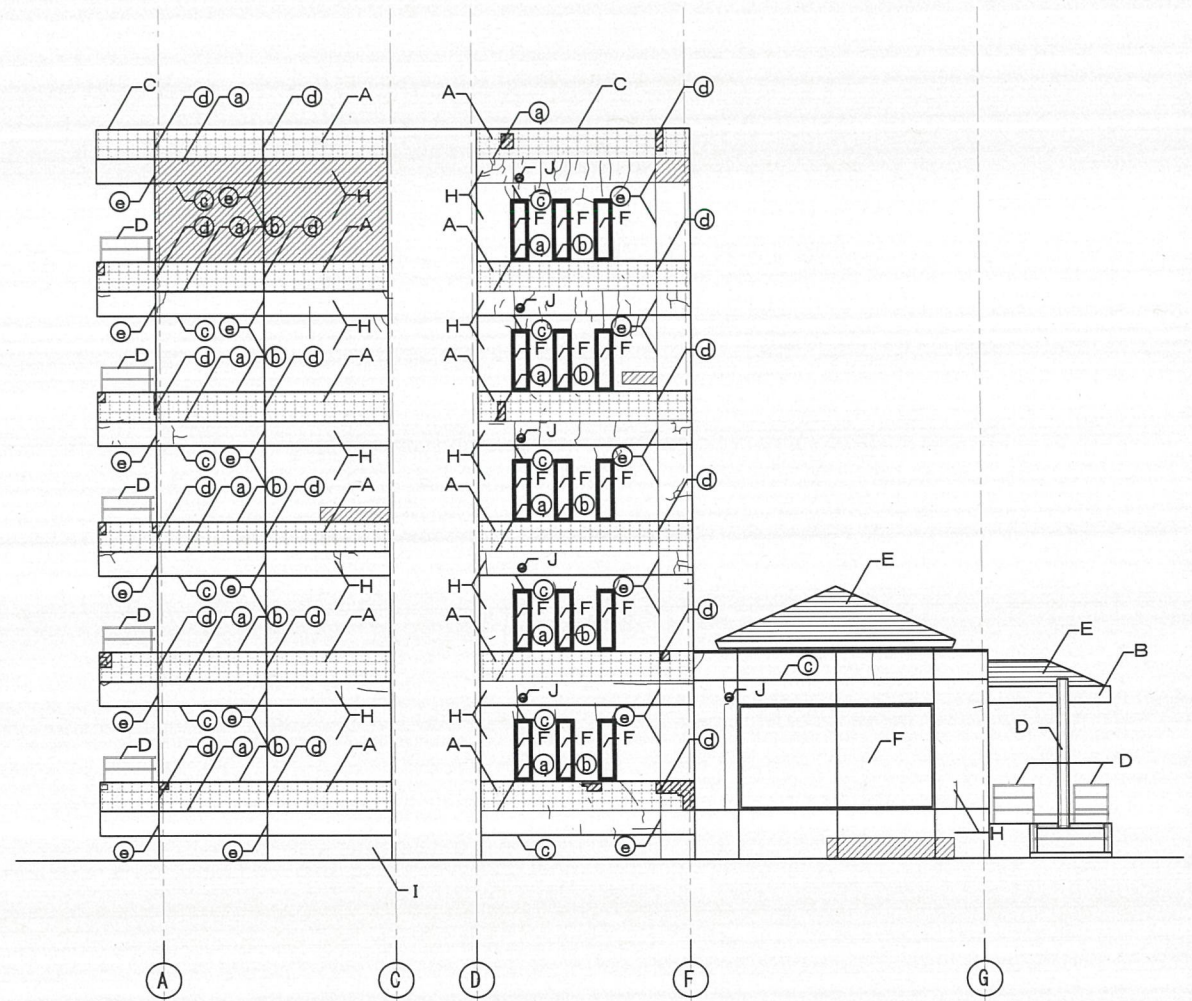
学生宿舎1棟 位置図	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地(タイル部分)	15×20
					C	アルミ笠木(既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地(RC部分)	15×25
					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地(タイル部分)	5×7
					E	フッ素樹脂鋼板 t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地(RC部分)	20×25
			亀甲ひび割れ補修ヶ所		F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						
			タイル浮き部補修ヶ所									
			剥落・剥離補修ヶ所									
			エフロ補修ヶ所									

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者	図面名称 学生宿舎1棟 立面図 02	縮尺 1:150 図面番号 A-06
	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健			





ア 立面図



イ 立面図

**A部**  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

**B部(玄関屋根アルミ部)**  
既存 アルミパネル フッ素焼付  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**D部(手摺部)**  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 25×65@1300 (バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

**D部(東側玄関 丸柱)**  
既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**E部(玄関屋根鋼板 段葺き)**  
既存 屋根フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き  
改修 高圧洗浄により水洗い  
取合部シーリング打替え10×10

**F部(アルミ窓)**  
既存 東側ラウンジ W520×H1435×4箇所  
改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**F部(アルミ窓)**  
既存 西側ラウンジ窓 W(2687+2687)×H2035×1箇所  
西側ランドリー室窓 W300×H1200×15箇所  
改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**H部**  
既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE






**I部**  
既存 コンクリート面仕上A種  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

**J部(ベントキャップ 150φ)**  
改修 周囲シーリング打替え10×10  
清掃・さび汁処理共

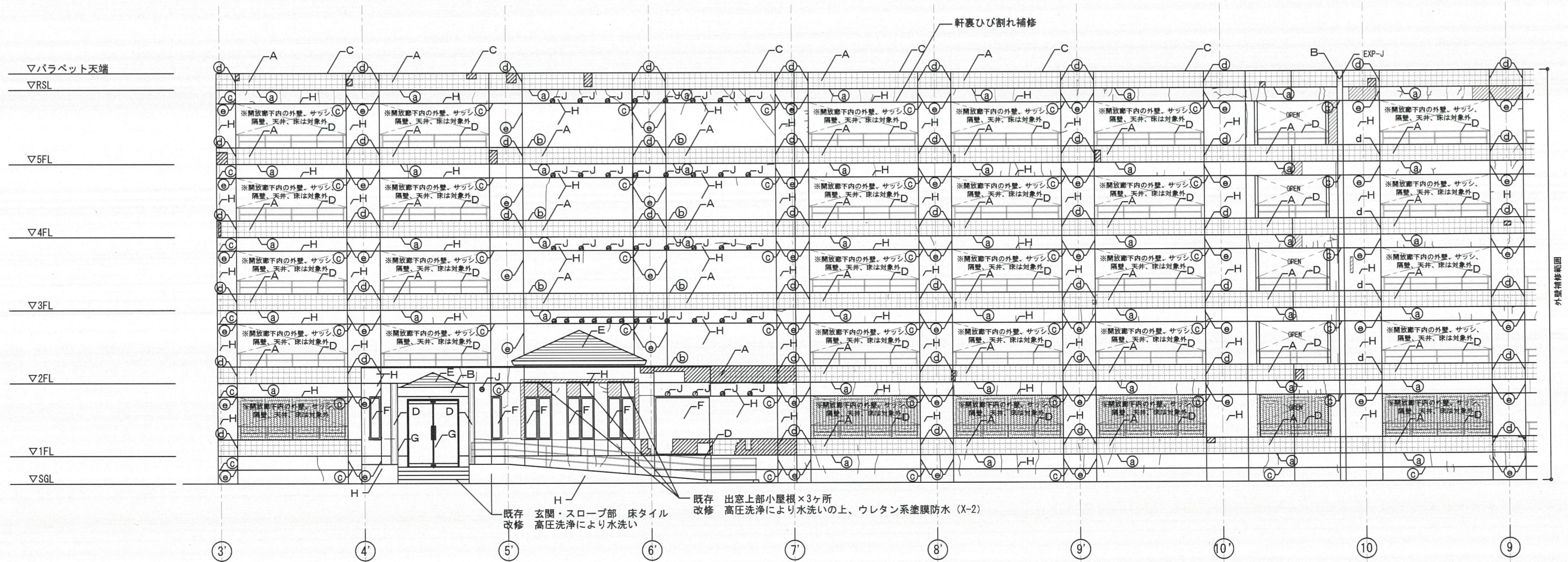
特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

<div>学生宿舎1棟 位置図</div>	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地 (タイル部分)	15×20
					C	アルミ笠木 (既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地 (RC部分)	15×25
					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地 (タイル部分)	5×7
					E	フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地 (RC部分)	20×25
			剥落・剥離補修ヶ所		F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						
			エフロ補修ヶ所									

訂正 令和 年 月 日		業務名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事		年度 令和 7 年 8 月	
				課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者			縮 尺	図面番号
		設計事務所名		管理技術者							図面名称	
		株式会社岩崎建築設計事務所		一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健							学生宿舎 1 棟 立面図 0 3	
											1:150 A-07	





**A部**  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

**B部(東側玄関 アルミ部)**  
既存 アルミパネル フッ素焼付  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**D部(手摺部)**  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300(バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

**B部(EXP-J)**  
既存 アルミ  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**D部(東側玄関 丸柱)**  
既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**E部(玄関屋根銅板 段葺き)**  
既存 屋根フッ素樹脂銅板t0.4 段葺き  
改修 高圧洗浄により水洗い  
取合部シーリング打替え10×10

**F部(アルミ窓)**  
既存 東側玄関ホール W300×H1435×2箇所  
東側ラウンジ W(495+495)×H1435×3箇所  
改修 アルミ製建具周囲シーリング打替え15×10  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**G部(鋼製扉)**  
既存 東側玄関 W1800×H2460 1ヶ所  
東側玄関(身障者用) W 900×H2460 1ヶ所  
改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10  
下地調整(RB種)の上 DP塗装  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**H部**  
既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE






**I部**  
既存 コンクリート面仕上A種  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

**J部(ベントキャップ)**  
改修 周囲シーリング打替え10×10  
清掃・さび処理共

特記：補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図 	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地(タイル部分)	15×20
					C	アルミ笠木(既製品)シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地(RC部分)	15×25
					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地(タイル部分)	5×7
					E	フッ素樹脂銅板t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地(RC部分)	20×25
			エフロ補修ヶ所		F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						

訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者     	図面名称 学生宿舎1棟 立面図 04	縮尺 図面番号 1:150 A-08
	管理技師名 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健			





**A部**  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

**B部(西側玄関 アルミ部)**  
既存 アルミパネル フッ素焼付  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**D部(手摺部)**  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300 (バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

**D部(西側玄関 丸柱)**  
既存 スチールφ267.4 フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**E部(玄関屋根鋼板 段葺き)**  
既存 屋根フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き  
改修 高圧洗浄により水洗い  
取合部シーリング打替え10×10

**F部(西側玄関 アルミ窓)**  
既存 玄関ホール W300×H1435×2箇所  
ラウンジ W(495+495)×H1435×3箇所  
改修 アルミ製建具周囲シーリング打替え15×10  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**G部(鋼製扉)**  
既存 鋼製建具(框戸) W1800×H2460 1ヶ所  
鋼製建具(框戸) W 900×H2460 1ヶ所  
鋼製建具 W 900×H1800 1ヶ所  
鋼製建具 W1800×H2920 (欄間ガラリ) 2ヶ所  
改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10  
下地調整(RB種)の上 DP塗装  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**H部**  
既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

**J部(ベントキャップ)**  
改修 周囲シーリング打替え10×10  
清掃・さび処理共

特記: 補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

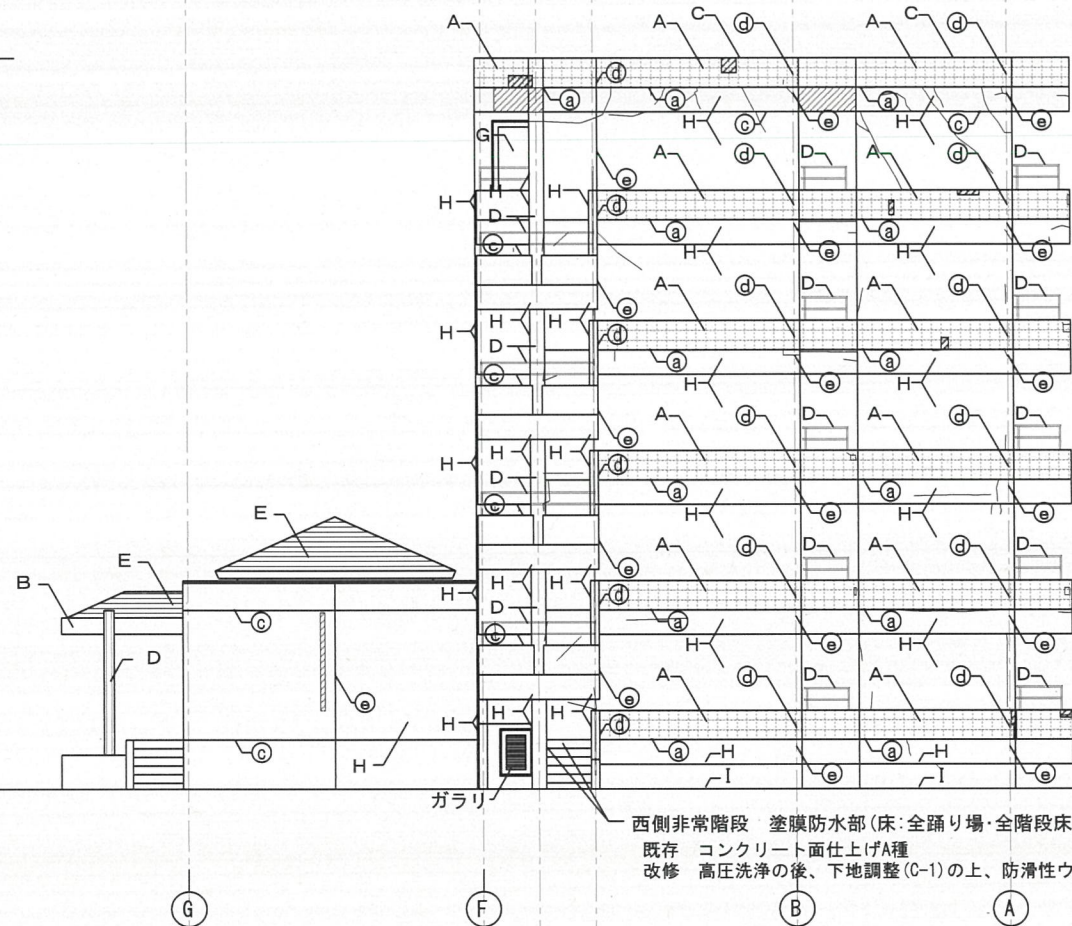
参考図

学生宿舎1棟 位置図	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地 (タイル部分)	15×20
					C	アルミ笠木 (既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地 (RC部分)	15×25
					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地 (タイル部分)	5×7
					E	フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地 (RC部分)	20×25
					F	アルミサッシ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						

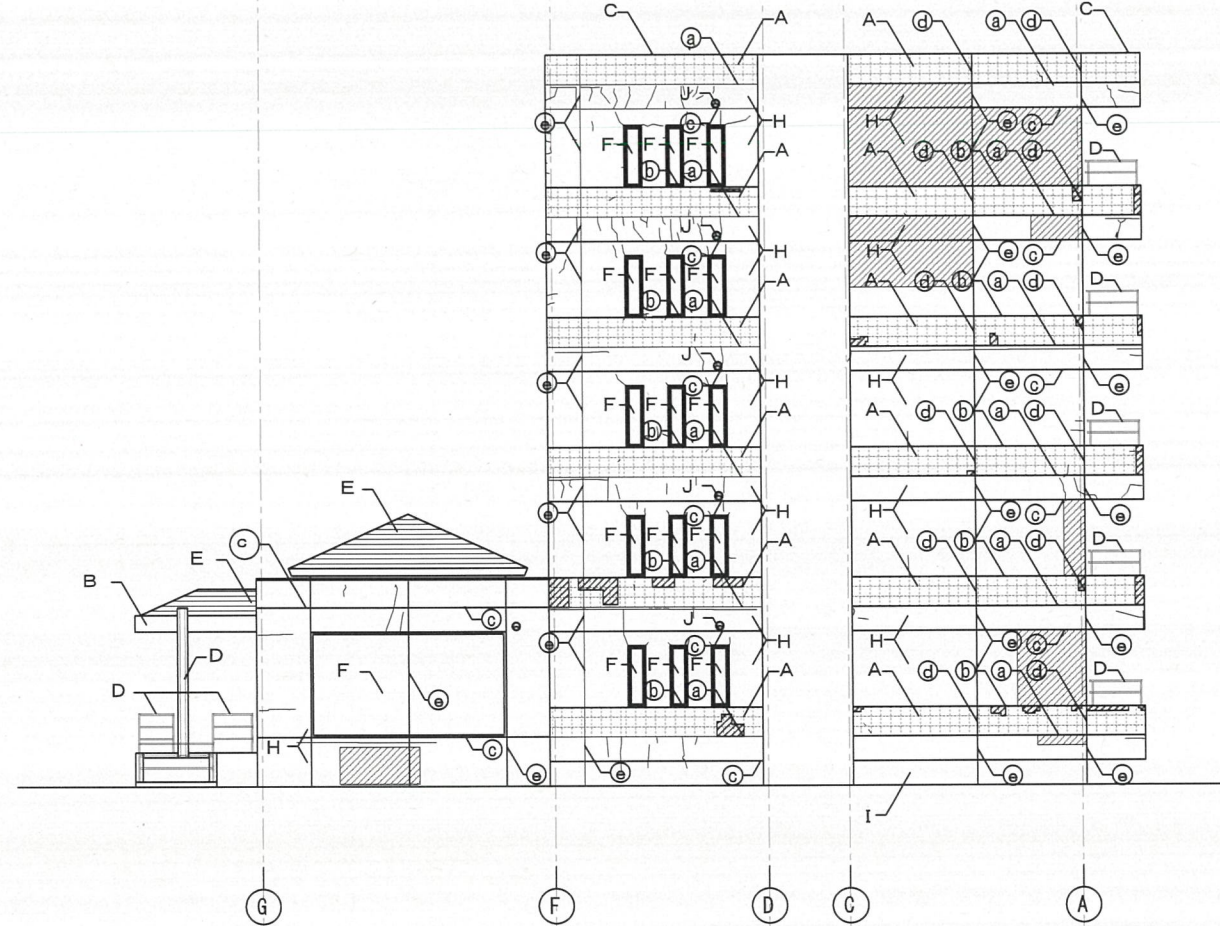
訂正 令和 年 月 日	業務名 奈良先端大 学生宿舎1棟等外壁改修他設計業務		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎1棟外壁改修その他工事	年度 令和7年8月
	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者		
			図面名称 学生宿舎1棟 立面図 05					図面番号	縮尺 1:150
									図面番号 A-09



▽パラペット天端  
▽RSL  
  
▽5FL  
  
▽4FL  
  
▽3FL  
  
▽2FL  
  
▽1FL  
▽SGL



ウ 立面図



エ 立面図

**A部**  
既存 50角磁器質タイル張り  
改修 外壁補修(ひび割れ・欠損・浮き部補修)の上、高圧洗浄(10MPa)

**B部(西側玄関 アルミ部)**  
既存 アルミパネル フッ素焼付  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**D部(手摺部)**  
既存 手摺FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65  
支柱FB スチール フタル酸樹脂エナメル塗装 -25×65@1300 (バルコニー・屋外階段側)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
支柱周囲 シーリング打替え10×10

**D部(西側屋外階段 H形鋼)**  
既存 H-300×150×6.5×9(西側屋外階段)  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装  
コンクリート取合部 シーリング打替え

**D部(玄関 丸柱φ267.4)**  
既存 スチール フタル酸樹脂エナメル塗装  
改修 下地調整(RB種)の上 DP塗装

**E部(玄関屋根鋼板 段葺き)**  
既存 屋根フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き  
改修 高圧洗浄により水洗い  
取合部シーリング打替え10×10

**F部(アルミ窓)**  
既存 東側ラウンジ窓 W(2687+2687)×H2035×1箇所  
東側ランドリー室窓 W300×H1200×15箇所  
改修 アルミ製建具周囲 シーリング打替え15×10  
ガラス外面 イオンデポジット除去(ウロコ落とし)

**G部(西側屋外階段 鋼製扉)**  
既存 1階ガラリ戸 W600×H900 1ヶ所  
各階非常扉 W900×H1880 5ヶ所  
改修 鋼製建具周囲シーリング打替え15×10  
下地調整(RB種)の上 DP塗装

**H部**  
既存 コンクリート面仕上A種 複層塗材E  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE


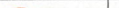



**I部**  
既存 コンクリート面仕上A種  
改修 高圧洗浄、下地調整材(C-1)の上 可とう形改修塗材RE

**J部(ベントキャップ150φ)**  
改修 周囲シーリング打替え10×10  
清掃・さび汁処理共

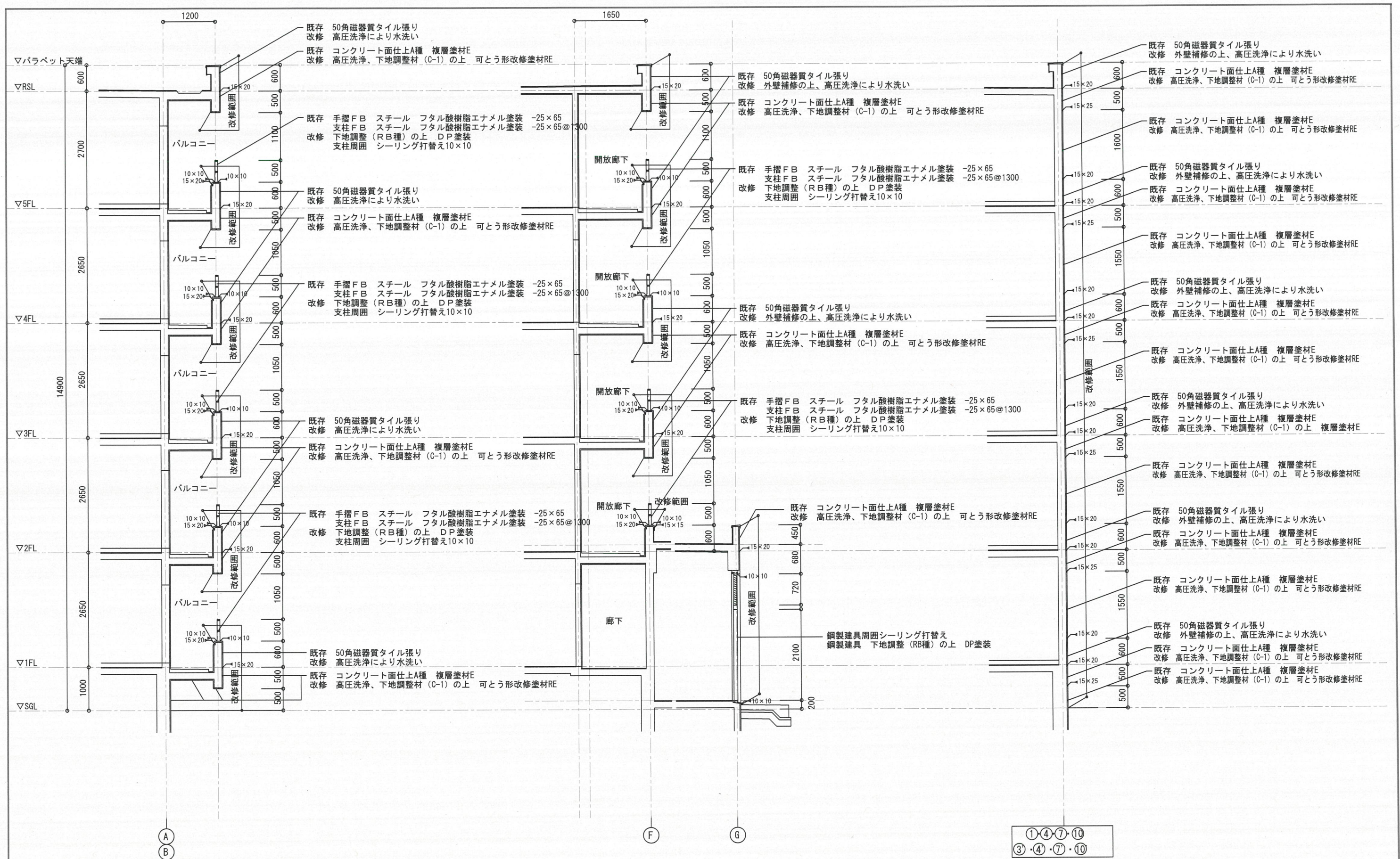
特記: 補修位置は参考とし、外壁補修施工前に全面打診調査を行うこと。  
タイル部分は補修後、高圧洗浄により水洗いすること。

参考図

学生宿舎1棟 位置図	凡 例 外壁改修		ひび割れ補修ヶ所	凡 例 既存仕上 ↓ 改修仕上 及び 改修概要	A	50角磁器質タイル張り → ひび割れ・欠損・浮き部処理	G	スチールドア 既存FE → DP塗替・建具清掃(ガラス共)	凡 例 既存目地 (全て打替え)	a	打継目地	15×20
					B	アルミパネル 既存F-BE → DP塗替え	H	コンクリート面仕上A種 既存複層塗材E → 可とう形改修塗材RE塗替		b	化粧目地 (タイル部分)	15×20
					C	アルミ笠木 (既製品) シルバーアルマイト	I	コンクリート面仕上A種 既存打放し → 可とう形改修塗材RE塗替		c	化粧目地 (RC部分)	15×25
					D	スチール 既存FE → DP塗替え				d	誘発目地 (タイル部分)	5×7
					E	フッ素樹脂鋼板t0.4 段葺き → 高圧洗浄				e	誘発目地 (RC部分)	20×25
			剥落・剥離補修ヶ所		F	アルミサッシュ シルバーアルマイト → 建具清掃(ガラス共)						
			エフロ補修ヶ所									

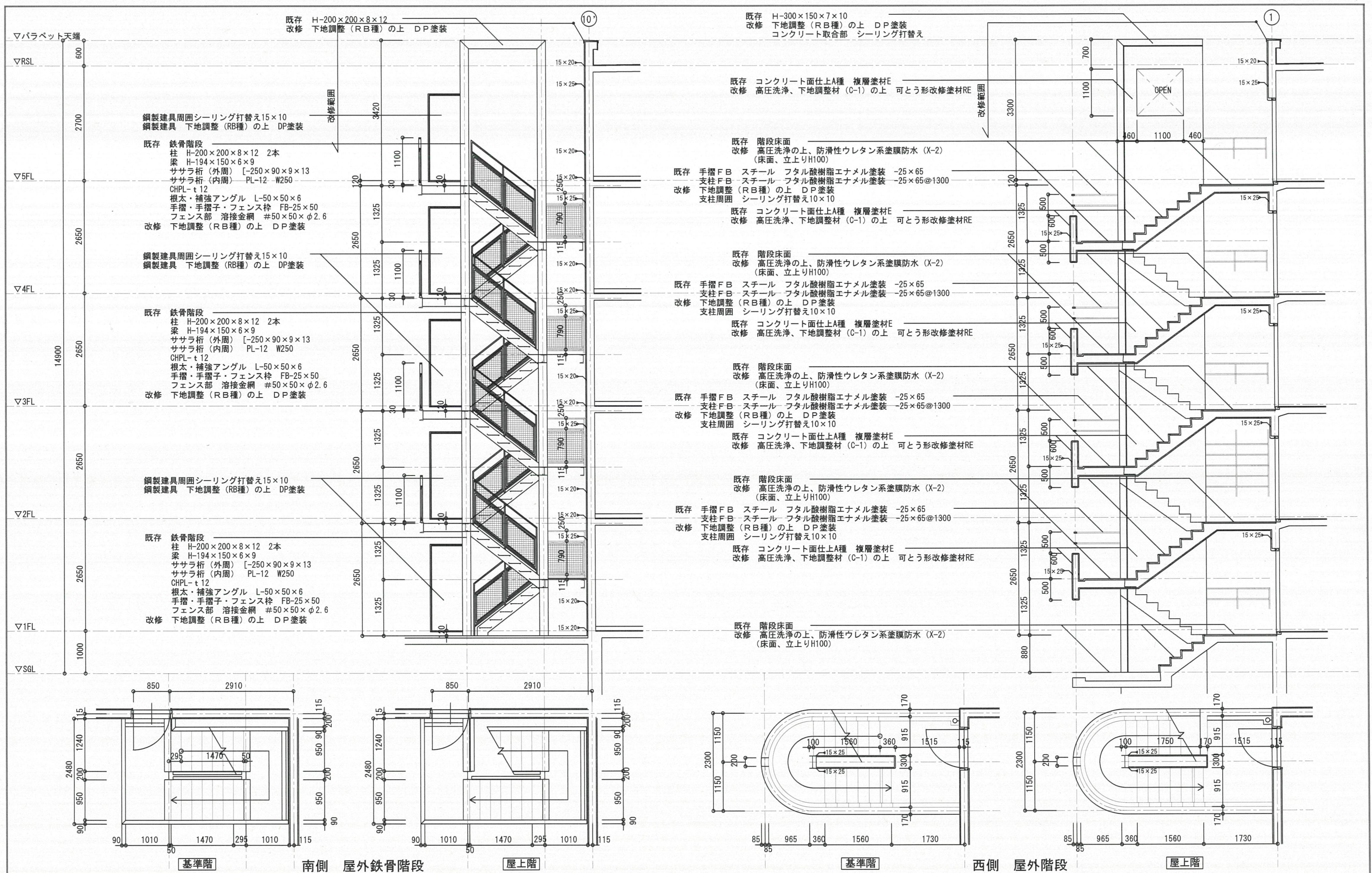
訂正 令和 年 月 日		業務名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務	設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所	管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事	年度 令和 7 年 8 月		
					課長	課長補佐	係長	専門職員	担当者		図面名称 学生宿舎 1 棟 立面図 0 6	縮 尺 1:150	図面番号 A-10
													





訂正	令和	年	月	日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
----	----	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--





訂正	令和	年	月	日	業務名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟等外壁改修他設計業務					国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学					工事名 奈良先端大 学生宿舎 1 棟外壁改修その他工事		年度 令和 7 年 8 月			
					設計事務所名 株式会社岩崎建築設計事務所					課長 課長補佐 係長 専門職員 担当者					園図名称 学生宿舎 1 棟 断面詳細図 O 2		縮 尺 1:80		図面番号 A-12	
					管理技術者 一級建築士 大臣登録 第364943号 岩崎 健					